

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。第140日

英語版はソフィア・オリニクさんとマリヤナ・ザヴィイシカさんによって作成されました。  
日本語版はダリヤ・ゴリナさんたちによって翻訳されました。

食品の安全性。[ロイター](#)通信によると、ウクライナ、ロシア、トルコの軍事代表団は水曜日にイスタンブールで国連当局者と会い、世界的な食糧危機が悪化する中、オデサの主要な黒海港からのウクライナ穀物の安全な輸出を再開するための取り決めについて話し合う予定です。招待された外交官によると、予備計画は、各当事者の役割を想定する可能性があります。ウクライナの船が採掘された港の水域を出入りする穀物船を案内し、ロシアは船が移動する間休戦に同意し、トルコは武器の密輸に対するロシアの恐れを和らげるために船を検査します。

[ウクライナのインフラ省](#)は、16隻の船舶が海外市場への輸出のためにウクライナの穀物を積むのを待っていたと報告し、90隻以上の船舶がルーマニアのスリナ運河で順番を待っていました。

[日本とドイツ](#)は、ウクライナからの穀物輸出の組織化を支援します。日本とドイツの外相は、モスクワに対する経済的制裁を維持しながら、ロシアのウクライナ侵攻によって脅かされている規則に基づく国際秩序を支援するために協力することを約束しました。林義正氏によると、ドイツと日本もウクライナからの穀物輸出の組織化を支援する予定です。

その間、ロシアの侵略者はマリウポリでウクライナの企業の収穫を盗み続けている、とペトロ・アンドリューシェンコ市長の顧問は言います。農民は、収穫物の100%をいわゆるDPRの「トレーディングハウス」に譲渡するという条件の下でのみ穀物を収集することが許可されています。

南とルハンスク地域の占領地では、[地元の農家](#)は、市場価格の何倍も低い固定価格で穀物を降伏することを余儀なくされています。拒否された場合、穀物は「国有化」されます。これはFSBの従業員によって監視されています。穀物の輸出は、協力者として登録されているそれらに関連する疑似企業によって行われます。占領地の自称当局は、穀物コレクションの構造を構築しました。各占領地域には、規範の実施に責任を持つ人がいます。

攻撃を受けている都市 ムィコラーイウは大規模な砲撃を受けました。ムィコラーイウ市長であるアレクサンダー・シンケーウィッチは、7月12日の日に、ロシアの占領軍が少なくとも24発のロケットを都市に発射したと[述べました](#)。その結果、2つの医療施設と住宅は破壊を受けました。スームィ州は、国境地域でロシア軍による[定期的な攻撃](#)を受けています。火曜日に、ロシア軍はさまざまな種類の武器でスームィ州の4つのコミュニティを58回砲撃しました。

ドネツク州、ロシア軍は4人の民間人を[殺害しました](#)。さらに8人が負傷した。7月13日、ドネツク地域行政のスポークスウーマン、テティアナ・イナチェンコ氏は、チャシウ・ヤルのミサイルストライキの死者数は[46人に上った](#)と言いました。救助隊員は子供を含む46の遺体を瓦礫から引き抜きました。7月9日、ドネツク州のチャシウ・ヤル市にある砲撃を受けた住宅建物の瓦礫の下から9人が救助されました。

復興 ウクライナは、社会インフラの再建を可能にする回復のための計画を[準備しました](#)。ウクライナの迅速な復旧計画は、本格的なロシアの侵略の結果として破壊された社会インフラ施設の迅速な再建を提供し、最高の近代的な建設基準を考慮に入れなければなりません。高速復旧計画の総予算はほぼ174億米ドルです。資金は、破壊された5909の高層住宅、31034の民家、259の学校、205の幼稚園、170の医療施設、2,070の住宅を復旧するために必要です。

人権 火曜日、国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)は、ロシアが2月24日に侵攻して以来、ウクライナで5,024人の民間人が殺害され、6520が負傷したと[述べました](#)。実際の通行料はおそらく高気になっていると付け加えました。

ハンクとドネツク州にあるロシアの代理人は、死刑のモラトリアムを[解除します](#)。ドネツク州のデニス・プシーリンは、7月12日、死刑の禁止を解除する法令に署名しました。以前、クレムリンのスポークスマンであるドミトリ・ペスコフは、ロシアは外国人捕虜の処刑を除外しないと述べた。

ウクライナとロシアは、軍人の30の遺体を[交換しました](#)。2月24日以降、400人以上の軍人、主にマリウポリのアゾフスタリ工場で殺害された者がウクライナに返還されました。

一時的に占領されたヘルソン州の領土で、主謀報局の特別部隊によって行われた特殊作戦中に、5人のウクライナ市民が捕虜から[解放されました](#)。

ロシア軍はメリトポリからザポリージャへの避難を[禁止しています](#)。以前、ウクライナ政府は、ヘルソン州の占領地の市民に、ロシア人が彼らを生きた盾として使用する可能性があるため、その領土を離れるよう呼びかけました。

外交政策。[EU財務大臣](#)は火曜日、長期譲許的融資として提供される、ウクライナへの10億ユーロのマクロ金融支援に関する欧州委員会の提案を承認しました。この金額は、緊急のニーズをカバーし、重要なインフラストラクチャの運用を確保するために必要な資金をウクライナに提供することを目的としています。

欧州連合は、5億ユーロの軍事援助の5番目のトランシェをウクライナに提供する可能性を検討しています。「European Pravda」の[報告](#)によると、これは、欧州議会の防衛および外交政策委員会の会議で、欧州対外行動サービスのステファノ・サニーノ事務局長によって述べられました。

ウクライナの州予算は、米国から17億米ドルの助成金を受けました。これらの資金は、国際復興開発銀行(IBRD)、国際開発協会(IDA)、および米国国際開発庁(USAID)によって作成された1人のドナーの信託基金から提供されました。

制裁。欧州委員会は138億ユーロ相当のロシアの資産を凍結した、と欧州司法長官ディディエ・レインダーズは述べています。彼によると、2月24日以降、わずか5つの加盟国で120億ユーロ以上が凍結されています。「私たちは他の加盟国にも同じことをするよう説得し続けなければなりません。今後数週間で、すべての加盟国でこれらのプロセスが強化されることを願っています」とレインダーズ氏は述べています。ウクライナの財政再建は戦後国を再建するために莫大な金額を必要とするため、ウクライナは再建のために凍結資産の費用を使用することを求めています。一方、EUと加盟国は、この目的のために凍結資産を使用する可能性のある方法をますます模索しています。

エネルギーセキュリティ。7月12日現在、敵対行為による被害により、ウクライナでは約790の集落、合計約619,800の消費者が電気を失っています。特に、ドネツク地域には約358.1千人、ルハンスク地域には128.2千人以上、ザポリジャ地域には38.1千人、カルキフ地域には約35.1千人、ミコライブ地域には30.2千人の消費者がいます。約244,000人の加入者がガス供給なしで残っています。

ウェスティングハウスのプレスリリースによると、ウェスティングハウス電気会社は、ウクライナの国営原子力発電会社であるエネルゴアトムと実現可能性調査契約を締結しました。ウェスティングハウスは、フメリニツキー原子力発電所に2つの新しい原子炉を建設するための、エネルゴアトムの実現可能性調査の最新情報をサポートする技術情報を提供します。

サイバーセキュリティ。ウクライナは、NATO加盟国の軍隊間の技術協力を実施する多国間相互運用性プログラム(MIP)の準会員になります。対応する決定は、MIPステアリンググループの年次総会で投票することによってなされた、とウクライナ国防省は報告しています。今後、MIPアソシエイトメンバーとしてのウクライナは、戦闘制御システムと関連する基準の相互作用に関連する主要なNATO基準を共同で開発し、修正する権利を有します。C4ウクライナ-NATO信託基金とMIPプログラムの支援により、2016年からウクライナの軍事IT専門家によって設計されたウクライナのデルタ状況認識システムの開発に多大な貢献がなされました。国防省の防衛技術革新開発センターの役員は、デルタの事業の例を引用して、MIP運営グループの会議でウクライナの可能性を提示しました。

ベラルーシ。ベラルーシ軍はウクライナの国境の近くで訓練を行っています。ベラルーシ国防省によれば、ホメリ南部で3日間の軍事演習が開始されました。7月12~14日、ベラルーシ領土部隊は、戒厳令の期間中、防衛し、検問所で奉仕するための訓練を行います。

化学。欧州宇宙庁は火曜日に、火星での生命の兆候を探すために設計された欧州初の惑星ローバーを打ち上げるという使命について、ロシアとの協力を終了していると述べた。ESAとロシアの宇宙機関ロスコスモスのコラボレーションであるExoMarsRoverは、今年9月に火星に向けて出発する予定でした。しかし、ESAは2月に、ロシアのウクライナへの侵入がそれを「非常にありそうもない」ものにしたと述べた。その後、3月に当局は、ウクライナの侵入とロシアに課せられた制裁を受けて、火星での共同任務に関するロスコスモスとの協力を停止した。

最近の世論調査。未発表の調査によると、ロシア人の30%がウクライナとの戦争の即時終了を支持しています。ロシアのメドゥザ独立メディアは、クレムリンが注文し、6月下旬に実施された未発表の投票へのアクセスを取得したと報告しました。調査によると、調査対象のロシア人の57%がウクライナとの戦争の継続を支持しています。

#### 読書コーナー

- [Address by Minister of Foreign Affairs of Ukraine Dmytro Kuleba to the Frontline Democracies Forum in Vilnius | Ministry of Foreign Affairs of Ukraine](#)
- [Ukrainian Medic's Months in Russian Cell: Cold, Dirty and Used as a Prop | The New York Times](#)

#### 総計情報

- 検察官によれば、348人の子供が殺され、650人以上が負傷しました。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年7月13日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約37,570人、戦車1649台、装甲戦闘車両(APV)3,832台、砲兵システム839台、多連装ロケットシステム(MLRS)247台、対空戦システム109台、固定翼航空機217台、ヘリコプター187台、軽装甲車2,704台、ボートおよび軽装ボート15台、運用戦術レベルUAV678台、特殊装備67台、移動式短距離弾道ミサイルシステム155台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- ムィコライウに拠点を置く「[Rebel Volunteers](#)」を支援してください。「Rebel Volunteers」は、ムィコライウにある救急病院、小児病院、その他の医療施設の外傷部門や救急治療室でボランティア活動しています。ボランティアグループは、ムィコライウ動物園を支援し、動物の権利活動家と協力しています。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- [PayPal](#)経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！